



日本共産党

ひたちなか市議
宇田たか子

9月議会報告

東石川3227-11
☎090-2764-6461

一般質問

一番身近な生活交通
もつと便利に

運転免許証を返納し、移動が不便な方が増えている

高齢になってもだれもが好きな時に行きたい場所に行ける、そのことがその人の自立した生活を保障し、生きがいや健康を維持することにつながります。だれ一人取り残さず、全ての人の尊厳を守れるまちづくりのために、地域交通の果たす役割は重要です。

◆宇田議員
来年から始まる「地域公共交通計画」、現在の進捗状況は？



◆森山企画部長
現状の分析および課題の整理として、統計データの収集、市民の方々の意見や移動ニーズの把握を進めている。

◆宇田議員
計画策定にあたり、湊線の延線には何十億円とかける一方で、スマイルあおぞらバスやその他の移動手段には、今以上の予算をかけられないか？

いという財政的な制約はあるか？

◆森山企画部長
市内の地域公共交通は、スマイルあおぞらバスのほか路線バス、鉄道などの移動手段があるが、持続可能な公共交通とするために運転手の確保、採算性、人口動態、地域振興、産業の発展などさまざまな視点をふまえた総合的な検討が必要。

◆宇田議員
市民の側からすれば、高齢化がますます進む市民の生活、移動の自由が持続可能か、ということが最も重要である。

今後5年間の計画にふさわしいものとなることを期待する。

基本設計ができ、
パブリックコメントの回答を公表

21名から、911件の意見



図書館ホームページ

市民参加で
つくろう

新

中央図書館

図書館は、赤ちゃんから高齢者障がいをお持ちの方も含め、すべての市民に開かれた知と情報の拠点です。新しい図書館が、人と人と文化、人と人をつなぐ場所となることを期待します。

◆宇田議員
パブリックコメントの受けとめは？

◆箱崎教育部長
市民の関心が高く、新しい図書館に期待する気持ちが表れていると受けとめた。

すでに基本設計に反映されていたり、実施設計に向けて検討中のものであるが、可能な限り反映できるよう努めていく。

◆宇田議員
今後の取り組みは？

◆箱崎教育部長
新図書館の運営面についてのワークショップを検討している。市民の気運醸成にもつながる取り組みを行ってきたい。

◆宇田議員
基本設計では、再生可能エネルギーの利用が全く考えられていない。

◆箱崎教育部長
太陽光発電設備の設置については、パネルを屋根の上に設置しても荷重に耐えられる設計とした。開館後のランニングコストをふまえながら、費用対効果の観点から検討したい。

◆宇田議員
司書の役割はますます重要になる。新図書館運営に向けた職員体制の強化は？

◆箱崎教育部長
現在、司書として採用した職員がら名、事務職としての採用で司書資格のある職員4名、司書資格のある会計年度任用職員5名のあわせて14名が司書資格を持っている。また令和8年度、有資格者1名を募集している。

図書館全体としても、研修などを通して職員の資質向上に取り組み、運営体制の強化を図る。

◆宇田議員
誰もが気軽に新図書館に行けるわけではない。学校やコミセン図書館との連携は？

◆箱崎教育部長
今後、更なる連携について検討したい。

小中学校体育館にエアコン設置を

予算措置もないのは本市を含む10市町村

100%設置は7市町村

異常な猛暑のなか、学校体育館へのエアコン設置は、災害時の指定避難所としてはもちろんのこと、体育の授業・部活動など通常の教育活動を正常に機能させるためにも必要不可欠です。

◆宇田議員
体育館での暑さ対策は？

◆箱崎教育部長
大型扇風機を配置している。

◆秋本教育長

◆宇田議員
計画通りに授業ができな

い状況をそのままにしておいてよいのか。

◆箱崎教育部長
子どもたちが日常を過ごす校舎の老朽化が進んでおり、学校施設全体の優先順位も考慮しながら検討する必要がある。

小中学校体育館にエアコン100%設置市町村

石岡市 鹿嶋市 茨城町 東海村
美浦村 河内町 境町

※水戸市は、2028年度末までに全ての小中学校体育館へのエアコン設置を計画しています。

陳情

不採択 になりました

学校、乳幼児や高齢者などの福祉施設では
緊急時の選定療養費徴収の運用を中止
することを求める

提出者 新日本婦人の会ひたちなか支部
県保健生活協同組合ひたちなか支部

宇田議員は、採択すべきと討論しました。

本陳情は、選定療養費の徴収そのものの中止を求めることではなく、少なくとも、上記の施設について、運用の中止を求めるというものです。

県は救急車を呼ぶべきか迷ったときには救急電話相談を利用するよう通知を出しましたが、他人のいのちを預かる施設では、緊急時に、選定療養費の有無を心配することなく、施設の複数の職員による判断により、直ちにためらうことなく救急車を呼ぶことを優先すべきです。

議案

令和8年度から
この制度の趣旨には賛同しますが、利用時間は限定的で、子どもと保育士の安定した信頼関係を築けるのか疑問です。

保育士の配置基準も低く、人件費も保障されません。子どもの死亡事故など重大事故は、乳幼児期で預け初めに多いことから、子どものいのち・安全を守るのか、不安です。

本市では、佐野幼稚園の空き教室を改修し保育室を確保し、専任の保育士を配置し、定期利用で実施予定ということには賛成します。

しかし、今後はどのような事業者が参入するかわかりません。

- 目的:「孤立した育児」による不安や悩みを抱えている子育て家庭への支援。就労要件を問わず、全ての子どもの育ちを応援する
- 対象:生後6か月から3歳未満で、保育所等に通っていない子ども
- 利用時間:月10時間まで 時間単位で利用する
- 利用の仕方:定期利用(同一の施設を定期的に利用)
自由利用(複数の施設を単発で利用)
- 利用者負担:あり

「こども誰でも通園制度」
安全安心な保育を提供できる制度とは言えない

令和6年度決算

くらし福祉に もっと予算を 物価高騰に苦しむ市民生活を守る施策 不十分

令和6年度、国の税収は過去最高となりましたが、防衛費ばかり増え、くらし福祉の予算は抑制しました。私たちのくらしの苦しみの大本には、この国の悪政があり、政治を変えなければ根本的には良くなりません。

しかし、住民福祉の増進を第一の役割とする地方自治体には、国の悪政の防波堤となり、住民のくらしを守ることが求められます。

一般会計

本市は、ここ数年、当初予算で多額の財政調整基金・市債管理基金(いわゆる何にでも使える貯金です)を組み入れて予算編成をし、最終的にはそのほとんどを減額補正してきましたが、令和6年度決算で、初めて約25億円もの基金を使うことになりました。6年度末の基金残高は、約67億円となり、これまでのような多額の基金をあてにした予算編成は今後はできない時期に来ています。

高齢化はますます進み、子どもたちは日々育ちます。区画整理事業に一般財源14億円近く繰り入れる一方で、公共交通施策や身近な生活道路の整備、老朽化した学校施設の改修、体育館へのエアコン設置などがなかなか進まない状況を改善すべきです。

本市の豊かな財政力を、自治体本来の役割である住民福祉の増進にこそもっと役立てるべきです。

特別会計

収入が増えないのに すべて引き上げ



国民健康保険

国保は、他の被用者保険に加入していない、すべての国民の加入を義務づけており、国民皆保険制度は国保によって完成されます。現在ではもっとも所得が低く不安定な就労や年金暮らしの高齢者のいのちを守る医療保険の最後の砦となっています。

しかし、持続可能な国保制度という名のもと、保険税率や賦課限度額の引き上げが続いています。

後期高齢者医療保険

75歳以上の方が強制的に加入させられる保険です。高齢者人口が増え、医療費がかかるからと、保険料も自己負担割合も引き上げが続いており、高齢者を必要な医療から遠ざけることにつながりかねません。

介護保険

介護保険制度は、高齢になっても誰もが尊厳をもって生き続けられるための人権保障の制度であるべきです。しかし、制度の維持のためにと、保険料・利用料の負担を増やし続けており、必要な介護を安心して受けられる制度とは言えません。

一般質問
録画中継は



市HP

メールアドレス



ご意見・ご要望、
暮らしのご相談など
お気軽にお問い合わせ
ください。

携帯 090-2764-6461

